

山鹿市民医療センター経営改善評価委員会

会議録（要約）

開催日時：平成25年3月22日（金）午後6時

開催場所：山鹿市民医療センター内医療研修センター

出席委員：牛島会長 上野委員 山口委員 吉岡委員

欠席委員：林委員 黒田委員

傍 聴：山鹿市議会福祉厚生委員（藤原副委員長 堀委員 池田委員 服部委員）

病院（事務局）出席者

：本郷事業管理者、竹下看護部長、荒木事務部長、野田総務課長、高山総務課長補佐、永田経理課長  
古閑経理課長補佐、青木医事課長補佐

1. 開会

2. 事業管理者挨拶

3. 会長挨拶

4. 議事

（1）平成24年度山鹿市病院事業会計決算見込みについて

委員承認

（2）部門別原価計算について

委員承認

【質疑応答等】（冒頭事務局説明省略）

（1）平成24年度山鹿市病院事業会計決算見込みについて

委 員 現状では、資産69億、負債12億であるから、単純に企業の貸借対照表から考えると総資産から総負債を引くと純資産であり、この純資産がプラスになると健全な経営と言える。地方公営企業の会計制度が変わる26年度には、資本金にある借入金である52億が、負債に計上されることで、負債と資産が同じくらいになる。

退職給付引当金という職員が将来退職する際に支給される退職金が、現時点でどのくらいあるのか貸借対照表に計上する必要が出てくるが、通常高く見積もる傾向にある。会計基準が変わってしまうと貸借対照表が債務超過の形に見えてくると予測される。

現状では健全な経営が行われているが、まだまだ会計基準が変わってくると、今後注意する必要がある。

事 務 局 平成26年度から新会計基準になるが、退職引当金として全職員230名分を引当てする必要がある。今度退職金に関する条例が改正になることで退職金の額にどの程度影響が出るかわからないが、前の試算では9億程度が見込まれており、この額を15年で引当金として積み上げる。単純計算で年6,000万円を費用として計上しなければならない。

資本金に計上されている借入金は負債へ計上することで、経営的にはシビアな数字が見えてくると考えている。

委 員 会計基準が変わるから数字が変わるということではなく、実態をより反映した会計基準が変わるので、現状貸借対照表を見ると資産が大きいと見えるが、これがよりシビアに変わって見

えてくる。

- 会 長 経営上問題ないのか。
- 事 務 局 会計基準が変わるのは26年度からなので、流動資産の現金預金を少しでも多く積み上げる方策しかないと考えている。従って25年度については、現金預金がいくら積み上げられるか。どれだけプラスをどれだけ計上できるかが債務超過になるかどうかと考えている。
- 会 長 22年度から24年度程度収益が確保できるのか。
- 事 務 局 24年度については現金預金をある程度確保でき、25年度においても積み上げることができる予定である。現金預金が確保できても貸借対照表は厳しいものになると考えている。
- 委 員 企業債は山鹿市が負担してくれる部分がある。52億円の企業債について、通常企業であれば全額返済する必要があるが、企業債は医療センターが自己負担で返すわけではなく、山鹿市が2分の1負担する計算すると、また将来の推計も変わってくる。
- 委 員 医療収益が上がれば大丈夫と認識している。
- 会 長 材料費が伸びているが消費税が上がるとかなり影響を受けるのか。
- 事 務 局 消費税が5%から8%に来年4月から上がるが、その影響は大きく考えている。ただ、診療報酬改定が来年実施されるので、どこまで考慮されるかにかかっている。
- 会 長 診療報酬改定において恩恵を受けそうな改定になるのか。
- 事業管理者 診療報酬改定年度ではあるが、未だはっきりと中医協の方針が見えてきていないのでコメントできない。ただ、急性期医療を今後も展開する意味では、それほどマイナスにはならないと予測している。
- 委 員 過去の消費税の改正の時には厚労省の見解では消費税の増税分は診療報酬でみたと発表しているが、今度どうなるかはわからない。
- 会 長 病床稼働率如何。
- 事 務 局 平成25年2月は170程度であったため、病床稼働率は91%である。
- 会 長 平均在院日数如何。
- 事 務 局 平均在院日数は4月から2月までで15.7日である。

## (2) 部門別原価計算について

- 会 長 初めての試みであり、興味深く拝見した。医師の時間の配分等積算するのに難しい部分もある。非常勤医師は何名か。
- 事 務 局 診療科は11科で医師は延べ17名。週1, 2回程度勤務いただいている。
- 委 員 病棟の病床区分如何。
- 事 務 局 ほぼ急性期であるが、一部5階病棟に亜急性期の病床を確保している。
- 委 員 産科病棟5階の赤字は他の病棟との違いがあることから結果がこのようになっているのか。
- 事 務 局 5階病棟は収容している患者数が少ないことが理由に挙げられる。患者は産科、産婦人科及び一部亜急性期、整形外科の一部の患者である。7月からは乳腺外科の医師を招聘する計画がある。5階病棟はレディース病棟と位置づけて運用していることから、今後、乳がん患者の受入を進めることで、5階病棟の黒字化を図っていきたいと考えている。
- 会 長 乳腺外科医師は常勤か。
- 事業管理者 常勤の方向で調整している。
- 会 長 乳がんについては化学療法も実施するのか。
- 事業管理者 そのとおりである。
- 委 員 費用の中の経費について、2階から5階まで変わっていない。抑えることはできないのか。

事務局 材料費については診療活動により増減するが、経費については電気、保守等の固定費であることから、抑えるのは難しい。

委員 産科病棟の状況。

事務局 平成23年8月に開棟し、23年度は累計41件、今年度は2月までで85件の分娩が行われている。

委員 出産が伸びてきている。口コミでも評判が良い。

会長 ホームページやツイッターでは助産師の評価が良い、建物がきれいといった内容を見る。

委員 部門別原価計算について正確に出すのは難しい。数字に振り回されるのではなく目安として考えた方が良い。目標達成のために現場に知らせるとしたら、何階は何床稼働、外来は1日何名といった数字を出していればいいのではないか。細かい個々の数字に関しては概算配分でしかないのであくまで目安である。

### (3) その他

#### ①電子カルテの導入状況

会長 電子カルテの導入状況如何。久留米大は運用が混乱しており、特に請求業務がうまくいかず7億の減収と聞いている。十分な検討とシミュレーションをしっかりと行ってほしい。

事業管理者 電子カルテについては全国的にも県内においても実績のあるベンダーの機器を導入することとし、7月からの運用開始に向けて現在準備を進めている。ベンダーに対する院内の評価が高かったこともあり、電子カルテの進捗状況に不安は持っていない。

会長 電子カルテに係る費用は安いものではないので、しっかり進めてほしい。

#### ②小児科等の状況

会長 小児科がなくなっているが状況如何。

事業管理者 小児科医を昨年5月に斡旋業者を通じて常勤を1名確保していたが、残念ながら今年1月いっぱいをもって退職された。熊本大学だけでなく、他大学にお願いしている。現実的に常勤医の確保は難しく、非常勤の応援も難しい状況。引き続き、小児医療体制の確保できるよう頑張っているが、現実的に難しい。

会長 塩谷知事の時、熊本県の小児医療体制を整えるという計画があったが、知事が変わってなくなった。小児科や救急等の医師の偏在はとても大きく、医療現場にいる者ではどうにもならない。政治の力が必要。塩谷知事の時期待して活動していた。是非議会の議員の方々には、県に働きかけて、特に小児医療体制を整えてほしい。小児科医がいないわけではなく、地方にいないだけである。よろしくお願ひしたい。

委員 耳鼻科が金曜の診察を受けたが、土曜に容態が急変して電話をし、日赤を紹介されたが、日赤も医師が1人で対応していて、救急でいっても満足に診察を受けられず、結局月曜に市内の耳鼻科を受診した。

事業管理者 耳鼻科医師も常勤は不在である。熊大が紹介元になるが、医師数が少なく、熊大も自前を賄うのも厳しい状況。週1回の応援を出すのも精一杯。この地域だけでなく、他の地域も同様であり、日赤も耳鼻科は常勤がいないのではないか。小児科も耳鼻科も他県も同様の状況。

会長 医師の専門領域が偏っている。

#### ③未収金について

会長 未収金の状況如何。

事務局 15年度から20年度はシステム変更により医事課のみならず病院全体が混乱していた。未収金の年額は100万円程度であるべきと考えている。当時の状況を把握していないが、今後収納に向けて検討していく。

会長 未収金を回収する業者への委託はあるのか。

事務局 荒尾市民病院が司法書士法人に収納業務を委託している話も聞いている。そういった委託も一つの方法と考える。

会長 委託料の方が高くないのか。

事務局 委託料は成功報酬として入金額の30～35%程度と聞いている。市の病院が業者への委託による取立てについていかなものかと以前委員から指摘いただいた。

会長 ここ数年は未収金が減ってきている。ちゃんとした電子カルテが導入されれば請求漏れがなくなる。

委員 市民医療センターは財政からの投入もあるので、回収に関しては逆に民間の医療機関よりシビアに行ったほうが良いと考える。個人病院であればその院長が了承すればいい話だが、市民医療センターは税金が投入されているから、未収金が増えれば増えるほど負担が大きくなるわけなので回収の努力は必要である。業者を使ってでも回収した方がよい。人件費を考えると、職員に回収させるより委託の方がかえって低コストになるかもしれない。

会長 是非検討してほしい。

#### ④その他

委員 玄関に基本理念、担当医一覧は分かりやすいが、自動ドアが両方開くので、ゆっくり見られない。また、施設基準が50項目以上掲載してある。職員が努力して勝ち取った基準だから、はっきりわかった方がよく、市民にアピールされていいと思う。

事務局 施設基準の掲示する大きさについて決まりはないが、前向きに検討したい。

事業管理者 この経営改善評価委員会は規定上2年となっており、今年で丸2年を経過した。今後、この委員会をどういった形で行っていくかご意見を伺いたい。病院としては中期計画を立てて活動しており、最低でもあと1年ご意見を賜りながら、病院運営に役立たせたいと考えている。委員会の存続と委員の任期継続をお願いしたい。

併せて経営改善評価委員会は規定上年2回としている。病院の運営は比較的安定してきていると認識している。必要に応じて開催することとするが、特段経過的に問題ない状況であれば年1回開催することについてご意見賜りたい。

事務局 中期計画はあと2年なので、委員会及び委員任期も同様にしていきたい。また、26年度に会計制度が変わるので、そのシミュレーションも含めて当方の資料完成が年度末近くになる。できた次点でご意見を賜りたい。

会長 委員会及び委員任期については了承し、会議は年1回とする。但し、必要に応じて開催するものとする。

以上